

# モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版)

第4期(決算日2024年3月6日)

作成対象期間(2023年3月7日~2024年3月6日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
なお、当ファンドは、2023年11月27日に信託期間を無期限とする約款変更を行ないましたので、ご留意下さい。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2020年2月28日以降、無期限とします。	
運用方針	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジなし)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジなし)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 騰落					
(設定日)	円							百万円	
2020年2月28日	10,000		—	—	—	—	—	2,412	
1期(2021年3月8日)	12,081		160	22.4	97.1		—	10,804	
2期(2022年3月7日)	13,251		170	11.1	97.7		—	18,447	
3期(2023年3月6日)	14,092		190	7.8	96.1		—	18,785	
4期(2024年3月6日)	18,698		230	34.3	97.3		—	21,209	

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2023年3月6日	14,092		—		96.1		—
3月末	14,158		0.5		95.9		—
4月末	14,546		3.2		96.5		—
5月末	15,157		7.6		96.8		—
6月末	16,299		15.7		97.3		—
7月末	16,357		16.1		96.8		—
8月末	16,851		19.6		97.4		—
9月末	16,238		15.2		95.9		—
10月末	15,655		11.1		96.3		—
11月末	16,994		20.6		96.4		—
12月末	17,060		21.1		96.8		—
2024年1月末	18,328		30.1		97.6		—
2月末	19,125		35.7		97.4		—
(期末)							
2024年3月6日	18,928		34.3		97.3		—

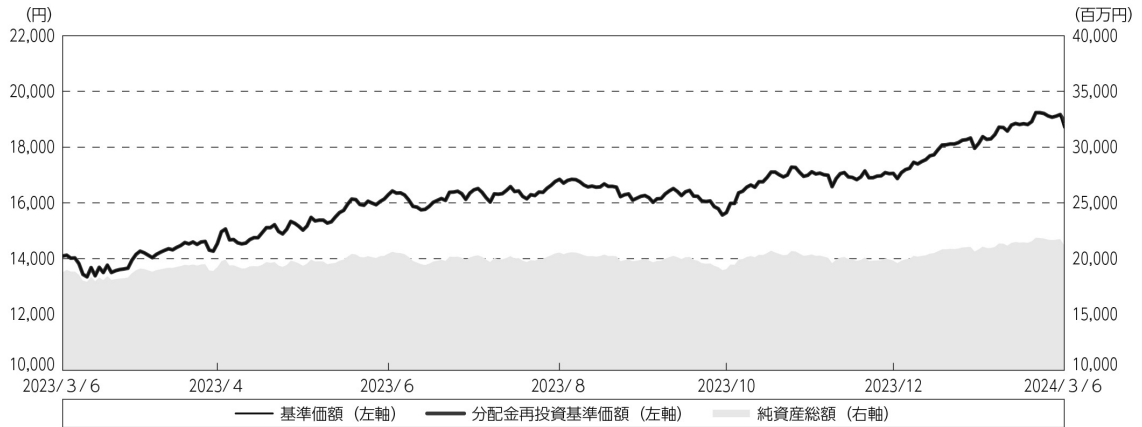
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：14,092円

期 末：18,698円（既払分配金（税込み）：230円）

騰落率： 34.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年3月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,092円から期末18,698円となりました。

(上昇)

- ・ 2023年11月、2023年7－9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、2023年10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことなど。
- ・ 期を通じて米ドルやユーロに対して円が下落（円安）したこと。

(下落)

- ・ 2023年9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。

## ○投資環境

期中の世界株式市場は、インフレ動向や各国の金融政策の行方などに左右される展開となりましたが、上昇しました。

為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）、ユーロに対しても下落となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

(1) 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG\*の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。

※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

(2) ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

(3) 期中の主な売買としては、米国の管理医療会社の株式などを新規に組み入れ、アイルランドの医療診断および治療器具メーカーの株式などを全売却しました。また、米国の清涼飲料メーカーの株式などを買い増しし、米国のスポーツ用品ブランドの株式などを一部売却しました。

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）]

### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

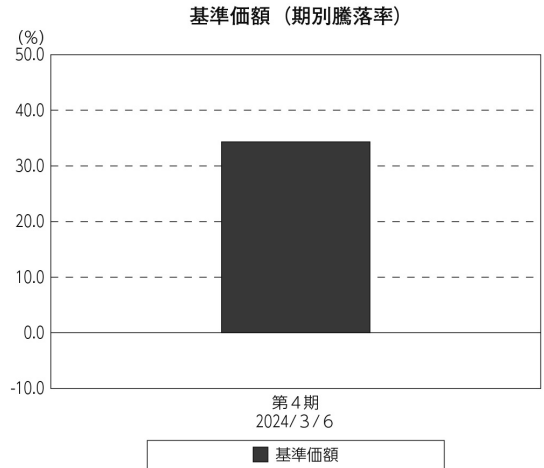
### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり230円の収益分配を行いました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2023年3月7日～ 2024年3月6日
当期分配金	230
(対基準価額比率)	1.215%
当期の収益	230
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,698

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

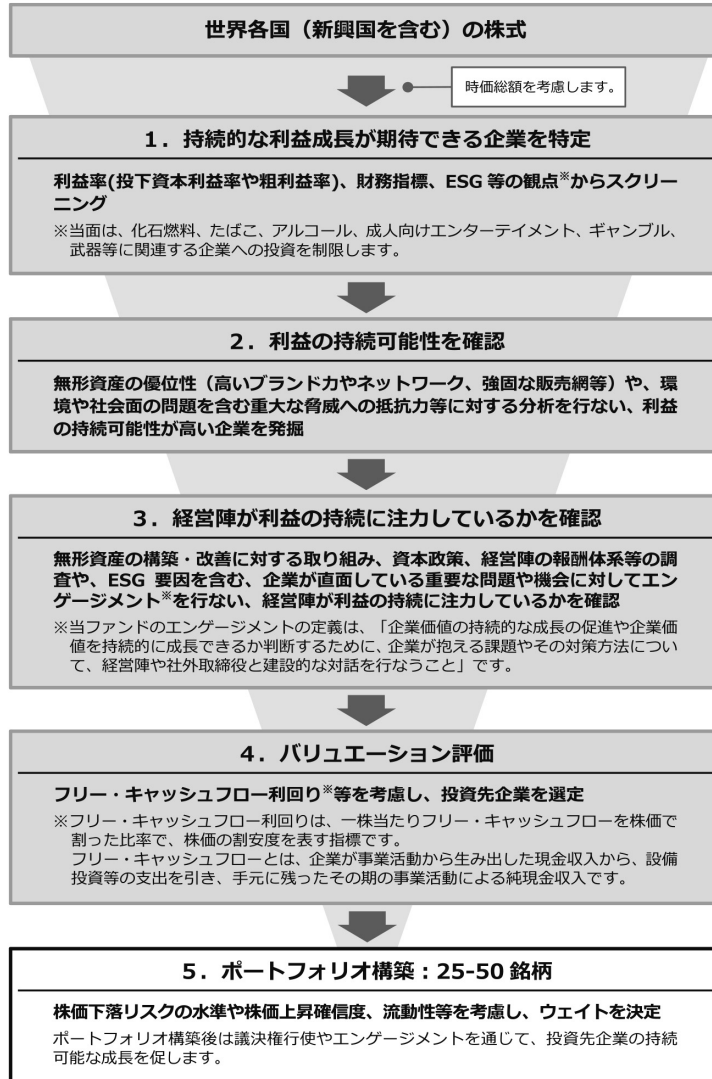
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

### ○運用プロセス図

当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

#### ■ ポートフォリオ構築プロセス ■



※上記のポートフォリオ構築プロセスは、今後変更となる場合があります。

## ○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

### ☆マイクロソフト（米国）

#### ①事業内容

マイクロソフト（Microsoft Corporation）はソフトウェア会社です。アプリケーション、追加クラウド・ストレージ、高度セキュリティソリューションを提供しています。

#### ②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

多くの企業が同社サービスを採用し、過去データを活用するためには同社のソフトウェアを使用し続ける必要があるため、業績が安定して成長しています。クラウド化の促進により、同サービスを利用する顧客のエネルギー使用・カーボン排出の削減に貢献している点や、2030年までのカーボン・ネガティブ（CO2の排出量を実質マイナスにすること）の実現、2050年までには1975年以降の排出量を解消する目標を掲げる点などを評価しています。

### ☆SAP（ドイツ）

#### ①事業内容

SAP（SAP SE）は多国籍ソフトウェア会社です。e-ビジネスおよび企業経営ソフトウェアなどビジネスソフトウェアの開発、アプリケーションソフトウェアを企業で使用する際のコンサルティング、研修サービスなどを提供しています。

#### ②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

高いブランド力による優位性、資本活用能力に優れた経営陣によって、継続的な利益成長を期待して組み入れています。同社はエレン・マッカーサー財団が設立したプラスチック再利用を推進する「New Plastic Economy」に加盟し、「2025年までにリサイクルプラスチックの使用割合を25%に、全パッケージを再利用可能に」を宣言しており、環境負荷低減に向けて大きく貢献しています。

### ☆ビザ（米国）

#### ①事業内容

ビザ（Visa Inc.）はクレジットカード会社です。小売り電子決済ネットワークの運営、国際的な金融サービスの提供に従事しています。金融機関、販売業者、消費者、企業、政府機関などが相互に行なう決済ネットワークやデータ転送サービスを通じて、国際的な商取引を提供しています。

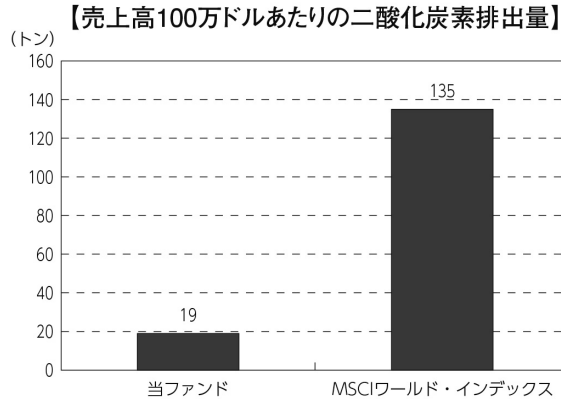
#### ②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

キャッシュレス化の恩恵を最も受ける企業の一つで、その流れはeコマース（電子商取引）の拡大で加速しています。同社はデータセキュリティ対策に尽力しており、サイバーセキュリティにおいては同業他社対比で最高の評価を獲得しています。また、同社の技術とグローバルなネットワークを利用して、“アクセス可能で革新的な金融教育のためのリソース”を無料で提供する“金融リテラシープログラム”を展開していることなども評価しています。

## ○当ファンドにおけるサステナブル投資

### ①世界株式と比較した当ファンドの二酸化炭素排出量

2023年12月末時点、ポートフォリオにおける二酸化炭素排出量の平均値は、世界の株式市場全体（MSCIワールド・インデックス）と比較して大幅に下回る結果となりました。



※基準日時点のTrucostのデータを基に、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが当ファンドおよび当該指数構成銘柄で加重平均したもの。

※Trucostは、カーボン排出原単位を、企業の投資額あるいは売上高100万ドルあたりの二酸化炭素排出量（スコープ1：燃料燃焼による直接排出量およびスコープ2：他社から供給された電気・熱等の仕様による間接排出量）と定義。

<使用した指数の著作権等について>

MSCIワールド・インデックスは、MSCI社が開発した指数です。同指数に対する著作権利、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント

### ②特定銘柄の除外

2023年12月末時点のポートフォリオは、二酸化炭素排出量について一定の基準に満たない銘柄や、ESGの観点から問題があるとみなす特定のセクターや業種に属する銘柄への投資を行っておりません。

### ③投資先企業へのエンゲージメント事例

#### ☆ナイキ（米国）

##### ・事業内容

ナイキ（NIKE, Inc.）はスニーカーやウェアなどを中心に、革新的な商品を送り出し続け、世界中のアスリート・スポーツファンに支持されるグローバルスポーツ用品メーカーです。「世界中すべてのアスリートにイノベーションとインスピレーションを」という理念のもと、アスリートとスポーツカルチャーにコミットしています。



・エンゲージメント活動<サプライチェーン・マネジメント>

“課題”

米国では2022年、強制労働で作られていないことを証明できない限り、人権侵害の疑惑がある新疆ウイグル自治区で生産された製品の輸入を禁止する法律が施行されました。運用チームは、同社がサプライチェーンのリスク軽減のための対策をどのように講じているのかを把握するためにエンゲージメントを行ないました。

“行動”

運用チームは、2021年に同社に対し綿花の調達が人権に与える影響についての報告書の作成を求める株主決議を支持しました。またこの決議の後、トレーサビリティ（追跡可能性）の検証を支持するトレーシング技術を提供する企業との提携を促しました。

“成果”

同社はサプライヤーである工場の広範な監視と報告を行なっていますが、綿の生産・紡績・製織といったサプライチェーンの初期段階での可視性は低いのが現状です。現在、人権に関する専門知識を有するサプライチェーンチームの新規採用者を含む7名のメンバーがトレーサビリティに専念しています。彼らは、過去の提案に沿ってトレーシング技術を提供する企業と協力しながらサプライヤーが主張する原産地証明を検証しています。

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント

## ○スチュワードシップ活動

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、議決権行使やエンゲージメントを通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのスチュワードシップ活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>

## ◎今後の運用方針

### [モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※<sup>1</sup>」「エンゲージメント※<sup>2</sup>・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※<sup>3</sup>」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

### [モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）]

主要投資対象である[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年3月7日～2024年3月6日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	316	1.925	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(180)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(126)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 9)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 1)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 1)	(0.009)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.013	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	320	1.955	
期中の平均基準価額は、16,397円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

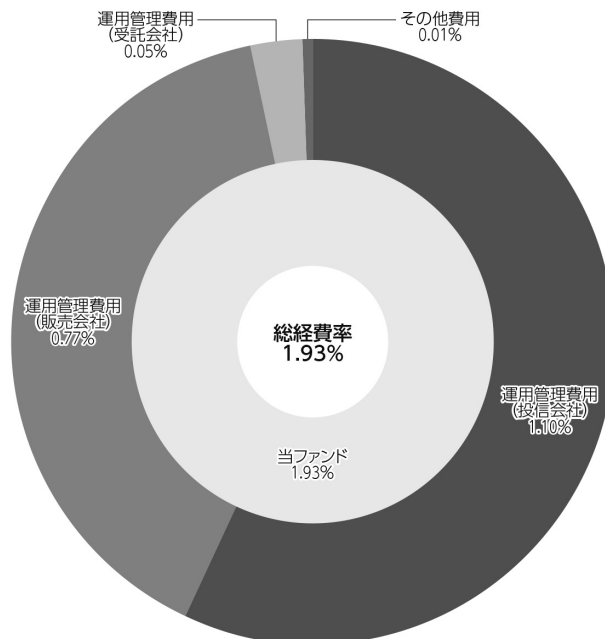
\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2023年3月7日～2024年3月6日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	千口 711,289	千円 1,245,400	千口 2,821,545	千円 5,123,100

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

（2023年3月7日～2024年3月6日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	22,897,892千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	30,317,118千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

（2023年3月7日～2024年3月6日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2024年3月6日現在）

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	千口 12,004,318	千口 9,894,062	千円 21,006,083

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2024年3月6日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	21,006,083	96.8
コール・ローン等、その他	692,237	3.2
投資信託財産総額	21,698,320	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（31,932,809千円）の投資信託財産総額（32,229,693千円）に対する比率は99.1%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.05円、1カナダドル=110.35円、1英ポンド=190.50円、1スウェーデンクローナ=14.45円、1ユーロ=162.83円、1香港ドル=19.18円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年3月6日現在）

○損益の状況（2023年3月7日～2024年3月6日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	21,698,320,524
コール・ローン等	237,036,779
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(国別別)	21,006,083,745
未収入金	455,200,000
(B) 負債	488,628,071
未払収益分配金	260,895,387
未払解約金	36,526,194
未払信託報酬	190,872,703
未払利息	80
その他未払費用	333,707
(C) 純資産総額(A-B)	21,209,692,453
元本	11,343,277,725
次期繰越損益金	9,866,414,728
(D) 受益権総口数	11,343,277,725口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,698円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 60,132
受取利息	76
支払利息	△ 60,208
(B) 有価証券売買損益	5,671,505,538
売買益	6,280,460,247
売買損	△ 608,954,709
(C) 信託報酬等	△ 377,164,121
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,294,281,285
(E) 前期繰越損益金	1,469,763,639
(F) 追加信託差損益金	3,363,265,191
(配当等相当額)	( 990,096,240)
(売買損益相当額)	( 2,373,168,951)
(G) 計(D+E+F)	10,127,310,115
(H) 収益分配金	△ 260,895,387
次期繰越損益金(G+H)	9,866,414,728
追加信託差損益金	3,363,265,191
(配当等相当額)	( 991,781,086)
(売買損益相当額)	( 2,371,484,105)
分準準備積立金	6,503,149,537

(注) 期首元本額は13,331,173,869円、期中追加設定元本額は1,118,874,786円、期中一部解約元本額は3,106,770,930円、1口当たり純資産額は1.8698円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額202,504,602円。(モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド)

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年3月7日～2024年3月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年3月7日～ 2024年3月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	198,107,712円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	5,096,173,573円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,363,265,191円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,469,763,639円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	10,127,310,115円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,928円
g. 分配金	260,895,387円
h. 分配金(1万口当たり)	230円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	230円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

信託期間を「2030年3月6日まで」から「無期限」に変更する所要の約款変更を行ないました。  
 <変更適用日：2023年11月27日>

# モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド

## 運用報告書

第4期（決算日2024年3月6日）

作成対象期間（2023年3月7日～2024年3月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG*の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。 ※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>



## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 2,959
1期(2021年3月8日)	12,445		24.5	97.7	—	24,990
2期(2022年3月7日)	14,110		13.4	99.0	—	34,271
3期(2023年3月6日)	15,495		9.8	97.0	—	30,349
4期(2024年3月6日)	21,231		37.0	98.2	—	31,451

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落率		
(期首) 2023年3月6日	円 15,495		% —	% 97.0	% —
3月末	15,588		0.6	96.7	—
4月末	16,041		3.5	97.1	—
5月末	16,749		8.1	97.4	—
6月末	18,046		16.5	97.6	—
7月末	18,139		17.1	97.2	—
8月末	18,717		20.8	97.6	—
9月末	18,056		16.5	96.7	—
10月末	17,432		12.5	97.2	—
11月末	18,963		22.4	97.1	—
12月末	19,066		23.0	97.3	—
2024年1月末	20,523		32.4	97.8	—
2月末	21,449		38.4	97.5	—
(期末) 2024年3月6日	21,231		37.0	98.2	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,495円から期末21,231円となりました。

#### (上昇)

- ・ 2023年11月、2023年7－9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、2023年10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことなど。
- ・ 期を通じて米ドルやユーロに対して円が下落（円安）したこと。

#### (下落)

- ・ 2023年9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。

## ○投資環境

期中の世界株式市場は、インフレ動向や各国の金融政策の行方などに左右される展開となりましたが、上昇しました。

為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）、ユーロに対しても下落となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

(1) 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG\*の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。

※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

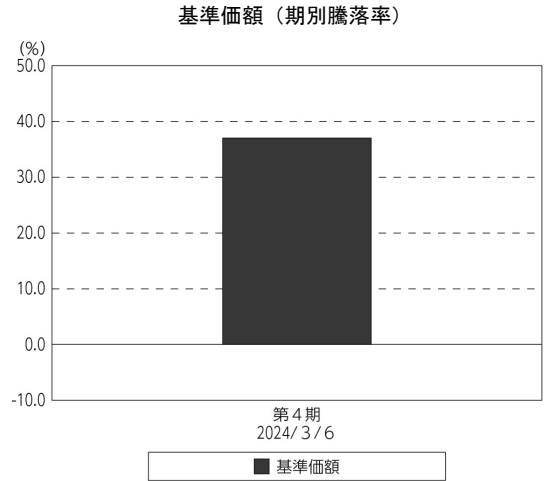
(2) ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

(3) 期中の主な売買としては、米国の管理医療会社の株式などを新規に組み入れ、アイルランドの医療診断および治療器具メーカーの株式などを全売却しました。また、米国の清涼飲料メーカーの株式などを買い増しし、米国のスポーツ用品ブランドの株式などを一部売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※<sup>1</sup>」「エンゲージメント※<sup>2</sup>・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※<sup>3</sup>」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけでなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月7日～2024年3月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	2 (2)	0.009 (0.009)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	2 (2) (0)	0.009 (0.009) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	5	0.026	
期中の平均基準価額は、18,230円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月7日～2024年3月6日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 2,621 ( 103)	千米ドル 42,348 (0.07821)	百株 5,367 ( 0.01)	千米ドル 83,366 (0.07821)
	カナダ	0.46 ( 34)	千カナダドル 118 ( —)	185	千カナダドル 5,670
	イギリス	753	千英ポンド 2,181	3,139	千英ポンド 5,675
	スウェーデン	31	千スウェーデンクローナ 423	1,248	千スウェーデンクローナ 19,629
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	67	1,085	531	7,617
	フランス	0.98	37	30	1,295
	オランダ	655	1,604	60	159
	香港	4,444	千香港ドル 28,666	986	千香港ドル 7,038

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\* ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外	カナダ	証券 — (6,826)	千カナダドル — (—)	証券 — (3,413)	千カナダドル — (—)

\* ( )内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分です。

○株式売買比率

(2023年3月7日～2024年3月6日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	22,897,892千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	30,317,118千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月7日～2024年3月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月6日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	674	518	6,137	920,896	ヘルスケア機器・用品
ADOBE INC	120	—	—	—	ソフトウェア
ALPHABET INC-CL A	659	428	5,681	852,522	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMPHENOL CORP-CL A	422	241	2,649	397,615	電子装置・機器・部品
AUTOMATIC DATA PROCESS	220	193	4,710	706,871	専門サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC.	610	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
BECTON, DICKINSON	303	266	6,225	934,122	ヘルスケア機器・用品
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	196	168	3,380	507,193	専門サービス
CDW CORPORATION	136	155	3,812	572,097	電子装置・機器・部品
COCA COLA CO	335	933	5,558	834,126	飲料
DANAHER CORP	373	190	4,857	728,803	ライフサイエンス・ツール/サービス
EQUIFAX INC	207	158	4,121	618,432	専門サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	—	27	1,263	189,579	資本市場
ARTHUR J GALLAGHER & CO	—	160	3,946	592,239	保険
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	—	65	1,136	170,566	金融サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	737	566	7,893	1,184,405	資本市場
IQVIA HOLDINGS INC	293	282	7,060	1,059,449	ライフサイエンス・ツール/サービス
MICROSOFT CORP	635	331	13,332	2,000,609	ソフトウェア
MOODYS CORP	59	45	1,744	261,717	資本市場
NIKE INC-B	200	89	877	131,597	繊維・アパレル・贅沢品
OTIS WORLDWIDE CORP	499	334	3,159	474,058	機械
PAYPAL HOLDINGS INC	470	—	—	—	情報技術サービス
REVVITY INC	—	242	2,596	389,555	ライフサイエンス・ツール/サービス
PROCTER & GAMBLE CO	312	386	6,161	924,563	家庭用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	105	81	4,365	655,101	ソフトウェア
STANLEY BLACK & DECKER INC	64	—	—	—	機械
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	680	384	5,183	777,848	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC	197	299	5,118	768,007	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	170	126	7,377	1,106,947	ライフサイエンス・ツール/サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	96	4,568	685,538	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VERALTO CORP	—	92	821	123,193	商業サービス・用品
VISA INC-CLASS A SHARES	603	391	10,932	1,640,493	金融サービス
ZOETIS INC	128	87	1,620	243,139	医薬品
AON PLC	120	209	6,590	988,907	保険
ACCENTURE PLC-CL A	395	281	10,626	1,594,451	情報技術サービス
MEDTRONIC PLC	510	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
STERIS PLC	143	109	2,508	376,472	ヘルスケア機器・用品
小計	株数 銘柄	7,946 31	156,022 —	23,411,125 <74.4%>	
	金額 比率				

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ) CONSTELLATION SOFTWARE INC LUMINE GROUP INC	百株 42 132	百株 24 —	千カナダドル 9,161 —	千円 1,010,938 —	ソフトウェア その他	
小 計	株 数 ・ 金 額 175 銘柄 数 < 比 率 >	24 1	9,161 —	1,010,938 < 3.2% >		
(イギリス) PRUDENTIAL PLC EXPERIAN PLC RECKITT BENCKISER GROUP PLC RELX PLC	2,181 657 1,190 1,370	— 569 869 1,573	千英ポンド — 1,908 4,448 5,383	— 363,478 847,354 1,025,463	保険 専門サービス 家庭用品 専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 5,400 銘柄 数 < 比 率 >	3,013 3	11,739 —	2,236,296 < 7.1% >		
(スウェーデン) ATLAS COPCO AB-A SHS	2,865	1,648	千スウェーデンクローナ 29,476	425,934	機械	
小 計	株 数 ・ 金 額 2,865 銘柄 数 < 比 率 >	1,648 1	29,476 —	425,934 < 1.4% >		
(ユーロ…ドイツ) SAP SE DEUTSCHE BOERSE AG	1,050 236	642 180	千ユーロ 11,147 3,471	1,815,228 565,283	ソフトウェア 資本市場	
小 計	株 数 ・ 金 額 1,287 銘柄 数 < 比 率 >	822 2	14,619 —	2,380,511 < 7.6% >		
(ユーロ…フランス) LOREAL-ORD	91	61	2,704	440,321	パーソナルケア用品	
小 計	株 数 ・ 金 額 91 銘柄 数 < 比 率 >	61 1	2,704 —	440,321 < 1.4% >		
(ユーロ…オランダ) UNIVERSAL MUSIC GROUP NV	—	595	1,622	264,124	娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 — 銘柄 数 < 比 率 >	595 1	1,622 —	264,124 < 0.8% >		
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 1,378 銘柄 数 < 比 率 >	1,480 4	18,945 —	3,084,957 < 9.8% >		
(香港) AIA GROUP LTD	2,714	6,172	千香港ドル 37,525	719,744	保険	
小 計	株 数 ・ 金 額 2,714 銘柄 数 < 比 率 >	6,172 1	37,525 —	719,744 < 2.3% >		
合 計	株 数 ・ 金 額 23,123 銘柄 数 < 比 率 >	20,285 42	—	30,888,997 < 98.2% >		

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国新株予約権証券

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末	
		証 券 数	証 券 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(カナダ) CONSTELLATION SOFTWARE WARRANT	—	証 券	証 券	千カナダドル	千円
合 計	証 券 数 ・ 金 額 — 銘柄 数 < 比 率 >	—	3,413 1	—	— < -% >



## ○投資信託財産の構成

(2024年3月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	30,888,997	95.8
コール・ローン等、その他	1,340,696	4.2
投資信託財産総額	32,229,693	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産（31,932,809千円）の投資信託財産総額（32,229,693千円）に対する比率は99.1%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.05円、1カナダドル=110.35円、1英ポンド=190.50円、1スウェーデンクローナ=14.45円、1ユーロ=162.83円、1香港ドル=19.18円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,226,273,894
コール・ローン等	790,060,392
株式(評価額)	30,888,997,708
未収入金	1,536,459,916
未収配当金	10,755,878
(B) 負債	1,775,009,039
未払金	996,908,940
未払解約金	778,100,000
未払利息	99
(C) 純資産総額(A-B)	31,451,264,855
元本	14,813,738,778
次期繰越損益金	16,637,526,077
(D) 受益権総口数	14,813,738,778口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,231円

(注) 期首元本額は19,586,577,529円、期中追加設定元本額は2,037,186,677円、期中一部解約元本額は6,810,025,428円、1口当たり純資産額は2,1231円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジなし) 9,894,062,336円  
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジあり) 4,919,676,442円

## ○損益の状況 (2023年3月7日～2024年3月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	373,278,383
受取配当金	366,273,763
受取利息	7,125,814
その他収益金	3,998
支払利息	△ 125,192
(B) 有価証券売買損益	9,492,301,979
売買益	10,313,509,541
売買損	△ 821,207,562
(C) 保管費用等	△ 2,969,818
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,862,610,544
(E) 前期繰越損益金	10,762,476,782
(F) 追加信託差損益金	1,568,413,323
(G) 解約差損益金	△ 5,555,974,572
(H) 計(D+E+F+G)	16,637,526,077
次期繰越損益金(H)	16,637,526,077

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。